

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和6年度長期就農研修 研修風景（9月分）

上半期から学び、下半期へ活かしていることを聞きました！



松井啓喜氏（写真左）

上半期は、は種や定植を適期にできなかったが、秋に向けては適期には種、定植作業ができた。

ミニトマトについて、上半期は赤色のほか、オレンジや茶色、黄色のものを栽培したが、オレンジや茶色は収穫判断が難しく、また黄色はアザミウマが寄生したため、下半期は赤色のみを栽培することとした。



橋本蒼士氏（写真右）



加藤憲子氏（写真手前）

キュウリは病害に弱いことを痛感している。下半期は病徴をよく観察するとともに、天候も考慮して農薬が適期に散布できるようにしたい。

「ふくのう」インスタグラムもご覧ください！

『福島県で農業しよう！「ふくのう」福島県 農業経営・就農支援ポータルサイト』の公式インスタグラムでは、長期就農研修生の研修風景も随時更新されております。こちらもぜひご覧ください！

https://www.instagram.com/fukunou_official?igsh=MWgxNWlzcG5vZjFuMg==

長期就農研修生の現地見学会も随時行っています！

令和7年度長期就農研修生募集にあたり、研修の概要及び施設見学を随時受付しています。ご検討されている方は、まずはお気軽に電話0248-42-4114、農業短期大学校研修部までお問い合わせください！

令和6年度長期就農研修生と
令和7年度長期就農研修受講
希望者との交流の様子

